

従事者部会スキー教室 新コースに歓声



北海道ニセコで行われたスキー教室

北海道では 初開催

今年暖冬を覚悟していた参加者であったが、幸いにも函館コースとも豊富な積雪に恵まれ、連日果敢なスキーを楽しんだ。

従事者部会では、産経新聞大阪新聞厚生文化事業団と大阪民間共済会から助成をいただき毎年「従事者スキー教室」を開催している。

一月赤倉コース、三月野沢コースが恒例となっていたが、今年は参加者の要望に応じて新コースで実施することになった。

一月二十二日、二十六日はシュプール号を利用して長野県梅池で実施。二月二十六日、三月一日は北海道ニセコで開催し、往復飛行機を使用した。

函館コースとも二十名の参加者が新コースに歓声を上げ、来年の再会を約束しあった。

今回募集する際、今までの参加者の中で様々なゲレンデを望む声が多くなってきたため、スキー場を変えて例年とちがった滑走を楽しんでもらうよう企画したものである。

初心者でも上級者でも参加できる内容であり、函館コースとも好評であった。

先輩社会事業家の文集

足跡

一あとにつづくもののために一

A5判 174頁 1,000円
大阪府社協従事者部会発行

▼スキー教室問い合わせ先
八尾母子ホーム 荒井氏
(〇七二九二二・一〇三三)

二月二十八日、四十三日、間違った湾岸戦争が停戦し平和の願いをこめて戦後処理が行われている。★爆撃から帰還した米軍パイロットが「まるでテレビゲームをしている様だった」と語っている。

ハイテク戦争と言われ目の前に写る画像を見ながらボタン一つ押す。何十人何百人の生命を傷つけ殺しながら何の心の痛みも伴わない。まさに慄然とさせられる思いだ。★戦争の論理は力と力、正義と正義のぶつかり合いである。その間に殺りくが繰り返される。平和と戦争は全く次元の異なるものであり、戦争はどのような美名で言いつらうともまたその正当性を主張しようとも、戦争そのものがいのちを傷つけやめるものである限り罪悪と断じねばならない。★イラク軍によるペルシヤ湾への原油放流やクウェートの油田炎上による環境破壊は地球規模で進んでいるという。戦争の及ぼす悪影響は計り知れないものがある。戦争は絶対にしてはならないのである。

木俣日



ゲーム指導の宮崎良雄氏と受講生

「ゲーム指導の実践」は幼児からお年寄りまで誰にでも出来るゲーム遊びについての実技指導とゲームリーダーの養成に主眼が置かれた。

宮崎良雄氏もこの講義五

変化の激しい現代社会を生きていく知恵として、音楽の持つ機能や音楽療法によるストレスコントロールについて学んだ。

講義の中にクラシック音楽を取り入れ、音楽のもたらす効用と心の健康を考えさせられた研修であった。

ロケ番組が組まれており、ユーモアに富んだ講師陣の指導も受け好評であった。

十月開催の「心の健康と音楽」には老人施設からの参加が目立った。

平成2年度各施設種別ごとの参加者数

施設種別	第1回	第2回	第3回	計
児 童	48	30	18	96
保 育 所	27	13	16	56
老 人	4	27	10	41
成 人	16	13	9	38

※母子寮は児童施設の中に含む。

平成2年度実施状況

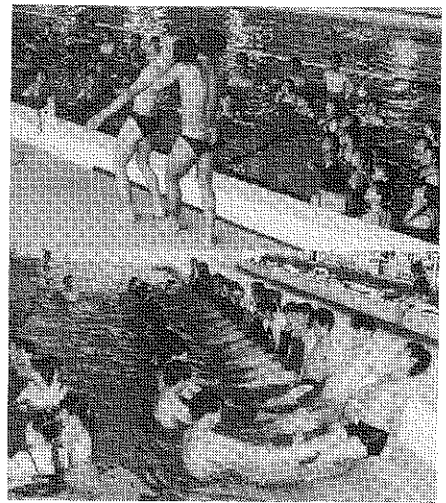
回	期日	会場	時間	科目および講師	参加者
1	7月5日(木)	岩崎レクリエーションセンター	10時～4時	(1)開講式 (2)救急法と水泳指導(10時15分～4時・昼食含む) 【講師】 勤健康管理・開発センター 八尾アスレチックセンター 池谷茂隆氏	95名
2	10月26日(金)	指導センター 大阪社会福祉	10時～12時 1時～4時	「心の健康と音楽」 【講師】 西日本心身医学協会 特別会員 川平正明氏 「ゲーム指導の実践」 【講師】 日本レクリエーション協会 一級指導者 宮崎良雄氏	83名
3	11月22日(木)	ルーム流屋橋教室 シャープOAショールーム	9時30分～4時30分	「ワープロ講座・基礎コース」 【講師】 シャープOAショールーム インストラクター 9時30分～12時30分 午前の部 1時30分～4時30分 午後の部	53名

平成2年度 集団指導者養成教室 —新規研修に人気—

第十二回集団指導者養成教室は平成二年七月五日、十月二十六日、十一月二十二日の年三回開催し、新しい研修を取り入れ充実した内容となった。

大阪ガス岩崎レクリエーションセンターで実施した「救急法と水泳指導」は九十五名が参加し、昭和五十八年から八年間続いているこの研修では最多参加者となった。

万一の事故や水際の事故に対する救助法・蘇生法の学習と水泳指導のノウハウや水の中でのゲーム遊びなど夏に向け時宜に適したプログラムが組まれており、ユーモアに富んだ講師陣の指導も受け好評であった。



救急法(上)と水泳指導(下)

度目の登場とあつて、健康性、協調性を通じて思いや

り感謝の気持ちで明るく楽しいゲーム遊びを強調された。

最終回に実施した「ワープロ講座・基礎コース」には案内状発送から一週間以内で受講定員数六十名に達する人気であった。

初めてワープロを操作する受講生の真剣さが伺えたが、当日欠席者が多く残念であった。

職場のOA化に伴う事務処理の省力化としてワープロ講座は今後も必要であり、集力継続していきたい。

集団指導者養成教室は施設種別ごとの専門的な研修ではなく、業種を横断したユニークな研修として定着している。

集団指導のノウハウや幅広い知識を身につけてもらうことが、所期の目的であるが、時代に適応した受講希望の多いものを見極め、常に新鮮な感覚で研修作りをしていきたいと思う。



2年連続シンフォニーホールで歌うコーラス部

コーラス部

熱唱再び

シーンと静まり返った会場、互いの緊張感が伝わってくる。張り詰めた雰囲気の中、山本先生の指揮でピアノ伴奏が始まった。

一曲、二曲……とても長くて短い七分間。照明が落ち、会場の拍手に送られてステージを後にした。

八月二十六日夏休み前後の日曜日、青少年健全育成のための第二回チャリティコンサート「音楽の捧げもの」がシンフォニーホールで催された。

第一部プロの方々によるハープの二重奏で幕が開き、二重唱、ヴァイオリン、ピアノ演奏の後第二部コーラスに移った。

従事者部会コーラス部は昨年同様二番目の出演であった。

一度経験しているとは言え、朝のリハーサルから午後四時前の本番まで徐々に

高まる緊張感。昼食を終えひと時練習した後いよいよステージ衣装を整える。

この出演のため、ある保育園の先生方が心をこめて手作りして下さった生花胸の美しいコーサージュを全員胸にし、控え室で出番を待った。

私達の活動を常にご支援

いただき、再度出演依頼された方々に対し、前年の感激をもう一度と練習に励んでは来たが、二十四時間体制の入所施設に勤める職員にとつて月二回の練習は出席がむずかしく、全員が集まる機会が少なかった。

しかも仕上げ練習の頃は最も忙しい夏休みとあつて満足のいく練習を重ねないまま、当日を迎えなければならなかった。

しかし練習不足を少しでも補うため曲をテープに入れ、車の中で繰り返し聴きながら個人レッスンをしたり、近くのメンバーが集まり自主レッスンするなど陰の努力もあつて迎えた本番であった。

当日最後のプログラムは出演者全員がステージに集合、聴衆といっしょに「花のまわりで」を大合唱し幕

平成2年度チャリティコンサート出演者名簿

(敬称略順不同)

ソプラノ			アルト			バス		
No.	氏名	所属施設	No.	氏名	所属施設	No.	氏名	所属施設
1	柳川 落徳	大仙 保育園	1	清水 文子	四天王寺幼稚園	1	蛇草 直樹	みづき特養ホーム
2	岸野 初江	"	2	荒田 育子	"	2	易本 清志	泉ヶ丘 園
3	小西三恵子	"	3	加藤富佐子	ときわ保育園	3	阿部 孝	武 田 塾
4	清水 百合	浦堂 保育園	4	西田 照子	浦堂 保育園	4	横山 泰直	南 河 学 園
5	出口 弥生	月の輪学院	5	谷本なるみ	"	5	山下 雅徳	布施救護院
6	西脇 美紀	"	6	尾山千鶴子	"	6	三角 和義	たんぽぽ保育園
7	加治ゆうかり	北野田保育園	7	佐々木理香	"	7	堀内 幸弘	梶原ビッコ保育園
8	岩瀬いそみ	村野 保育園	8	角山 幸子	村野 保育園	8	坂本 玉器	津之江さくら保育園
9	西村千恵子	古 川 園	9	金澤久美子	武 田 塾			
10	橋本尹希子	泉ヶ丘学院						
11	西村美早子	大仙 保育園						
12	朝川美知恵	泉ヶ丘学院						

指揮者 山本 佳人

伴奏 佐久間京子
(あさか保育園)

は閉じられた。

興奮さめやらぬ中で、反省会をもち、コーラス部活動を通して歌うことの楽しさや喜びを感じるこの大切な話を話した。

また山本先生の発声法や指導法を学んだり、他業種の人達との交流により他施設

設の理解を深めたり、多くの事を学びとった。そしてこの発表会で学んだいろいろな事を各施設に持ち帰り、また大きく成長してこの舞台で歌うことを約束し、シンフォニーホールを後にした。

従事者部会常任委員紹介

従事者部会常任委員は児童、老人、成人、保育、母子寮の各部会から推薦される。今回各部会から四名の常任委員にご登壇いただき、抱負や常任委員活動について語っていた。

あさか保育園

矢追 千明



主催の体育祭・グンスパ・ティール等に参加させていただきました。

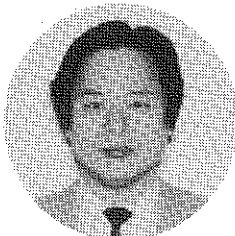
児童、老人、保育、成人、母子寮と業種は異なるため普段は交流が少ないのですが、この時は楽しい一時でした。

交流を通して専門性は違いますが、従事者としての福祉の心はひとつである事を確認しました。

従事者部会主催の救急法と水泳指導・ゲーム指導・ワープロ講座等の集団指導者養成教室や、民間共済会

救護施設・愛隣寮

松出 初正



他業種の施設で働く職員の方々と交流により、私自身が広く大きな人間になれたなら、自分の施設の処遇向上にも役立つのではないかと思います。

実際には施設従事者の方々が良く知り、参加されている事業に従事者部会が数多く関わっていることを知り驚いています。

先輩常任委員の足まといにならない様がんばらせていただき、業種を越えた幅広い活動が出来る数少ないこの部会を発展させていきたいと思っています。

従事者部会の思い出を語る

愛され信頼される部会を

養護施設
南河学園長 伊山 羊之助

昭和四十一年五月、部会長に就任させていただき、

当時、本部会も混乱していた、存続すら危ぶまれていました。

この時、「愛される従事者部会、魅力ある従事者部会」の二つのスローガンを掲げ、副部会長に浅田政夫先生、伊藤正子先生の強力な力添えを得て進めて参りました。

今なお続いている新任職員激励大会も、この時発足し

たものであります。

次に、施設従事者の給料が著しく低く、一例として私ごとですが、本俸が、四万三千六百円でした。従って、公私間格差は正が大きな課題であり、常任委員の懸命な努力が続けられ、最終的には私の後任宮本武男氏に引きついたのであります。

数々の思い出も言い尽せないものがありますが、紙

第十代部会長
昭和四十年〜四十四年

面の制約もあり省略します。

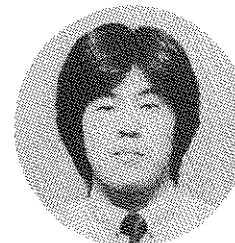
微力ながらも親子二代にわたり、部会長の重責に就任させていただき、誠に光栄であり、多くの皆様方にて、公私間格差は正が大きな課題であり、常任委員の懸命な努力が続けられ、最終的には私の後任宮本武男氏に引きついたのであります。

益々の発展をお祈りして小稿を終ります。

第十代部会長
昭和四十年〜四十四年

養護施設・和泉幼児院

石原 信子



「スキー教室は知っているが従事者部会には知らない。」

軽費老人ホーム明星

西田 孝司



昨年部会の業務内容を理解するだけにとどまりましたが、これからは諸行事に協力させていただき、いつも心に情熱のかがり火を燃やして前向きに精一杯生きたいと思っています。

編集後記

昭和六十二年三月に復刊した「かがり火」も第五号の発行となった。

一年一回の発行のため、どうしても年度報告書のような観があるが、集団指導者養成教室やスキー教室は毎年実施しており、平成三年度も多くの従事者に参加していただきたい。

民間共済会の福利厚生事業や従事者部会の諸行事には常任委員の存在は不可欠。次号からも順次紹介したく、これからも常任委員をよろしく願っています。